

2019年度 第1回CSR委員会 議事録

日 時 2019年4月11日(木) 13:30~17:10
 会 場 日本代協 会議室
 出席者 20名

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
上信越	小田島 綾子	南関東	安田 哲生	東中国	山田 眞理
北海道	池田 壮	東京	三浦 起世光	西中国	藤本 展久
北東北	寺田 昭夫	東海	福村 幸郎	四国	高嶋 英樹
南東北	沓澤 六雄	北陸	三上 茂	九州北	桜井 敏雄
上信越	近藤 亨	近畿	山口 裕貴	九州南	田中 栄治
東関東	伊藤 綱人	阪神	西川 秀俊		

< 担当副会長 > 横山 健一郎 < 事務局 > 専務理事:野元 敏昭、特命部長:小出 鋭(記)

：委員長、 ：副委員長

< 委員会での決定事項 >

- ・活動推進の考え方を共有し、地震保険チラシのリニューアルを検討
- ・ぼうさい探検隊の意義をしっかりと伝え、取組みの浸透を図る
- ・2019年度三冠王の代協独自取組み項目の一つに「ぼうさい探検隊」が加わったことを踏まえ、各委員は問い合わせに対応できるように、仕組みや手続き方法、関連する資料などを把握しておく

議 事

・挨拶

1. 小田島委員長挨拶

- ・年度初めの多忙中、委員会に出席いただき感謝申し上げます。
- ・前回の委員会翌日に、ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式に参加し、子どもたちの晴れ舞台でのキラキラとした姿に大変感動した。
- ・防災・減災に取り組む子どもたちの無限の力を引き出すことが大人たちの役割だと感じた。
- ・我々として何ができるかを考えた時に、地域に根差した活動として子どもたちに愛情を込めて、自らの勉強も含めてマップ作りを推進することが大切である。
- ・会員に対しても、ぼうさい探検隊の意義をしっかりと伝え、協力いただく環境作りをすることが委員会の務めと考える。
- ・ぼうさい探検隊の取組みに関し、皆さんから提出いただいた感想文や川柳を拝読したが、視点が細やかで、責任感に溢れ、ユーモアがあることを確認できた。
- ・昨日行われた天皇陛下在位 30 年式典をテレビで視聴した中で、平成という時代は災害が多く、天皇皇后両陛下が被災者に寄り添い、励ましながら復興に向けて歩んできたという一節があった。
- ・間もなく新元号となり、我々も安心・安全な社会の実現に向けて、防災・減災の意識を高めて、どんなことができるかという視点で進んでいきたい。
- ・真の CSR 活動として我々が目指すものは、活動が自主的であり、地域に根差した活動であるべきと考える。
- ・昨年度は各代協の活動の進捗状況の確認等に時間を割いたが、ここからの 1 年は先を見据え、皆で同じ方向を向いて、壮大な感性を持って意見交換できる委員会にしたい。

- ・将来の役に立つ活動を見出し、それを実践する中で、心のワクワク感を味わっていただきたい。
 - ・本日も皆さんの活発な論議を期待したい。
2. 委員交代の挨拶
 - ・阪神ブロックの西川委員より、自己紹介とブロック選出委員就任に際しての挨拶があった。
 3. 司会進行・議事録作成者の指名
 - ・司会進行に伊藤副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・報告事項・情報共有事項

1. 報告事項
 - (1) 理事会・臨時総会・ブロック長懇談会報告
 - ・事務局より、配布した三冠王関連資料、日本代協ニュース、理事会議事録・臨時総会次第の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。
 - ・三冠王の結果速報(7代協が達成)を説明した。
 - ・理事会で論議した4つの審議事項(シンボルマーク取扱規則の改定・三冠の1項目とする代協独自取組み項目・サイバーセキュリティ対策の事業計画案への追記・ブロック選出委員の交代)の結果を説明した。
 - (2) 2018年度第2回活力研
 - ・事務局より、2/27開催の活力研についての報告があった。今回は、各社が考える「顧客本位の代理店」を定性・定量で評価する際の見解を質し、意見交換を行った。日本代協HPのインフォメーション(会員専用)にも公開済みの議事録を配布した。
 - (3) 前回委員会の振り返り
 - ・前回のCSR委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

・審議事項

1. 各ブロック活動報告
 - ・事前に提出されたチェックシートの集約結果を確認し、前回委員会以降の活動状況を報告した。
 - (主な活動報告)
 - ・(岩手)地元警察とタイアップし、飲酒運転撲滅運動を実施した。
 - ・(やまがた)青パトの出動式を警察署にて実施した。
 - ・(やまがた)110ネットワークに登録し、不審者情報や行方不明者手配情報等を入手している。
 - ・(長野)地震保険防災・減災シンポジウムを開催し、180名の参加があった。
 - ・(群馬)県庁を訪れ交通遺児支援福祉基金を贈呈した(今年で9回目)。
 - ・(茨城)防犯メールの登録を促進し、警察と連携強化している。
 - ・(千葉)元プロ野球監督を講師にオープンセミナーを開催し、多くの一般聴講者が参加した。
 - ・(神奈川)ベビーシート寄贈を13年継続している。
 - ・(東京)献血を実施し、114名の受付(うち89名献血)があった。
 - ・(富山)サイバーセキュリティ対策のセミナーを5月総会にて実施することが決定。
 - ・(近畿・阪神)ブロックで地震保険セミナーを実施した。
 - ・(山口)自治体の交通フェスティバルに保険会社協力の下、運転診断シミュレーターを出展し、大盛況だった。
 - ・(福岡)周年行事の際、交通遺児チャリティを実施した。

2. 2019 年度 CSR 活動の進め方

- ・小田島委員長より、2019 年度日本代協事業計画について CSR 関連を中心に説明があり、前年までの活動を単に踏襲することなく、新しい視点で地域ならではの恒例行事を作り、目的を明確にして取り組むことの重要性を説いた。加えて、日本代協事業計画をベースに各代協の CSR 活動計画を策定するよう要請した。
- ・その後、要望や提案等の意見交換を行った。
- ・無保険車追放の取組み時に自転車保険の啓発も同時開催の提案が出されたが、自転車保険未付保は法令違反とはならず、国交省内の管轄部署も異なる為、現時点では切り離しての対応との見解に至った。
- ・事務局より、無保険車追放については当初地域限定で取組む予定であったが、国交省からの強い要請により全国ベースで取組むことが報告された。
- ・併せて、自動車盗難防止の取組みに関し、2018 年の自動車盗難認知件数(8,628 件)が 59 年ぶりに 1 万件を下回ったことが報告され、ワースト 10 地域(2017 年と変更なし)と損保協会が指定する 4 地域(東京・岐阜・福岡・沖縄)で開催予定であることを共有した。
- ・サイバーセキュリティ対策に関しては警察と各代協事務局が連携し、早期にセミナー開催するよう案内した。
- ・高嶋副委員長より、2012 年に東日本大震災の被災地視察した際に危機感を抱き、自社の BCP を策定し、2017 年に香川県中小企業 BCP 優良取組事業所に認定されたことが報告された。
- ・地震保険に関して、付帯率の高い都道府県の代協取組みを一部共有し、参考とすることとした。
- ・地震保険啓発・普及キャンペーンに関しては、チラシをリニューアルする際、QR コードの活用を検討することとした。
- ・地震保険の単独販売の要望が出されたが、事務局より、募集経費・保険金額の正確性等の課題があり、現行制度が合理的との説明をした。地震保険法(財務省管轄)においても、被災者の生活の安定に寄与することを目的としていると補足した。
- ・最後に、昨今の大規模自然災害対策として、各代協や会員が防災・減災に取組む具体的活動の検討が必要であり、今後論議することとした。

3. ぼうさい探検隊の取組み

- ・事務局より、第 16 回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」の応募要項を説明し、申込方法(紙ベース・Web 方式)や代協紹介カウントとするための留意点等を補足した。
 - ・直近(2019 年 3 月末時点)の応募状況は 12 団体であることを共有した。
 - ・小田島委員長より、2019 年度三冠王に代協独自取組み項目(選択制)が加わり、ぼうさい探検隊の取組みが選択肢になったことと表彰基準を説明した。
 - ・桜井委員より、第 15 回マップコンクール表彰式の模様を収録した DVD が善意で各代協分提供され、応募勸奨等に活用することとした。
 - ・前回の委員会以降の取組みにつき、以下の報告があった。
- (主な取組み)
- ・SDGs の目標 11 番(住み続けられるまちづくりを)と親和性があると判断し、活動開始した会員もいる。
 - ・代協理事メンバーに PTA 役員がいたこともあり、その人脈を活用して幅広く案内している。
 - ・「みなさまの保険情報」掲載記事をお客様へ情宣した。
 - ・障害児通所施設等を運営する市民団体に未使用タオル約 200 本を寄贈した際に提案した。
 - ・地元大学の防災士クラブと連携することを検討している。
 - ・紹介団体が佳作に入賞し、損保協会の地元支部が実施した表彰式に参加した。

- ・地域の学校の校長会を活用して提案を行った。
- ・提案に必要な書類をセットした独自ファイルを作成し、ブロック内で共有した。
- ・ぼうさい探検隊に関する豆知識をクイズにして、理解を深めた。

4.1 年間の振り返り

- ・小田島委員長より、諮問事項に対する中間答申案が提示され、出来たこと・出来なかったこと等を確認し、繰越し課題を共有した。
- ・また、委員長所感の中でこの1年間の委員会メンバーの活動を労った。

その他・閉会

1. 情報提供

- ・事務局より、日本代協会議体の年間スケジュール案、日本代協 YouTube チャンネル登録の促進、RINGの会オープンセミナーについて説明した。
- ・続いて、火災保険等に係る異常危険準備金制度の改定(積立率を6%に引き上げ)、サイバーセキュリティ対策、検査マニュアル廃止後の検査動向、生保業界の動き(節税保険・外貨建保険)、保険代理店外交員の経費天引き問題等について情報提供した。

2. 横山副会長挨拶

- ・各地で熱心に活動いただき感謝申し上げる。
- ・委員長を中心に真摯に取り組んでいただいていることもあり、委員会も回を重ねるごとに精度が上がっていると感じる。
- ・防災・減災に関しては、具体的に何をやるかが重要である。お客様への情報提供としてハザードマップを活用することも一例である。また、代理店が自社BCPを策定し、自身が被災した際にも早期事業復旧により、お客様への迅速な対応が可能となる。東京五輪を控え、サイバーセキュリティ対策も大事である。
- ・委員会の中で自前のツール類の紹介があったが、とても素晴らしいと感じた。どのように活動に繋げるかがポイントである。
- ・委員会で決定したことが各代協で情宣され、会員が取り組むことが真のCSR活動の基軸である。
- ・活動の本質が浸透するよう各代協にしっかり伝えることを期待している。

以上

次回開催日 2019年6月27日(木) 13:30~17:00